工事認可等の申請漏れおよびデータの不適切な修正の原因と再発防止対策の概要

1. 工事認可等の申請漏れ

【事象の概要】

電気事業法に基づく申請漏れ... 4 発電所

電気事業法に基づく必要な工事計画の認可および届出の申請が行われていなかったもの。

河川法に基づく申請漏れの可能性があるもの... 4 7 発電所

河川法に基づく必要な工事計画の許可の申請が行われていなかったもの。

平成 18 年 1 月 21 日までに判明した 26 発電所 (上記 47 発電所とは 22 発電所が重複) の河川法に基づく申請漏れについては、その発生原因と再発防止対策を平成 18 年 1 月 20 日に国土交通省各地方整備局に報告しており、本件には含まれておりません。

【原因】

認識の問題

工事認可等の申請に対する認識が不足していた。

仕組みの問題

工事認可等の申請要否を判断する仕組みと申請漏れを確認する仕組みが十分でなかった。

【再発防止対策】

認識の問題への対策

関係法令の手続きの必要性および今回の不適切な事象の内容、ならびに社内ルールの見直し内容について、社員に周知・徹底する。

仕組みの問題への対策

申請要否の判断が難しいものについては監督官庁と事前協議を行うこと、また、複数の所管箇所が申請漏れを確認すること等を社内ルールに明記し、社員に周知・徹底する。

2. ダム堆砂状況に関する定期報告データの不適切な修正

【事象の概要】

実測横断面図の不適切な修正... 6 ダム

堆砂量データの算定に必要な実測横断面図について、測定方法の変更に伴う堆砂量データの差異を修正するために、河床の高さを修正していたもの。

堆砂量データの算定過程におけるデータの補正... 24 ダム

堆砂量データの算定過程において、測定方法の変更に伴う測量差異を正すために、監督官庁と協議することなく、データを補正していたもの。

: このうち5ダムが重複

【原因】

認識の問題

データの補正等がコンプライアンス上問題であるとの認識が不足していた。

仕組みの問題

堆砂報告に関する業務手順が明確でなく、また、適切な業務手順が踏まれているかを確認する仕組みが十分でなかった。

コミュニケーションの問題

不適切な修正が行われていることに気づいても、それを改善するべく相談し、問題を共有することができなかった。

【再発防止対策】

認識の問題への対策

原則、データを補正しないことを社内ルールに明記し、社員に周知・徹底する。

仕組みの問題への対策

堆砂報告に関する業務手順および適切な業務手順が踏まれているかを確認する方法を社内ルールに明記し、社員に周知・徹底する。

コミュニケーションの充実

問題発生時には速やかな情報伝達が行われ、問題点の早期共有がなされるように、本店と第一線職場のコミュニケーションの機会を増やすなど、各事業所間および各職場内のコミュニケーションの充実を図る。